

2009/02/23

Quality Assurance Agency 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

Quality Assurance Agency

- ① Subject Benchmark Statements策定の具体的な方法と工夫について
- ② 日時： 2009年2月23日（月）14:00~16:00
- ③ 場所： Southgate House, Southgate Street, Gloucester, GL1 1UB
- ④ 対応者： Fiona Crozier, Assistant Director, Development and Enhancement Group
Laura Bellingham, Researcher, Development and Enhancement Group
Richard Kamm, Assistant Director, Development and Enhancement Group
Maureen McLaughlin, Assistant Director, Reviews Group

3. 訪問調査結果概要

イギリスでは、ベンチマーク・ステートメントの位置づけは、アカデミック・インフラストラクチャー（Frameworks for Higher Education Qualifications が基本で、その下に、Subject Benchmark Statements, Programme Specifications, Codes of Practice がある）の一部と見なされており、唯一絶対の評価指標ではない。

ステートメントは、用語の統一に寄与し、かつ、学士課程の学位の意味を広義に定めるものである。

新しいコースを設置する場合、例えば会計学のコースを設ける場合、その分野の専門家だけでなく、ステートメントを参照することで、そのコースのプログラムの内容に関する協議に参加できる。部局内の議論を誘発することが、ステートメントの重要な機能である。ただし、カリキュラムを規定するものではない。なお、該当する分野のステートメントがない場合は、複数のステートメントを利用して一つのプログラムを考えてもよい。

プログラム・スペシフィケーションは誰でも読めるように、特に学生（保護者）が理解できるものを書くことが重要。

ステートメントの執筆を依頼した時には、学者の間で強い不安（大学版のナショナル・カリキュラムになるのではという恐れ）があった。

機関レベルの評価（監査）は、基準等を満たしているかどうかのチェックリストとして機能すべきであるが、分野別評価にはそのような目的はない（レギュレーションではない）。

① Policies concerning the selection of the fields for subject benchmark statements

導入の段階では、ファンディング・カウンシルの分野別レビューの分類（60種類）に従った。なお、伝統的で大きな分野に対して、QAAはステートメントの執筆をプロアクティブにお願いした（QAAからステートメントの編集を依頼した）一方、新しく小さい分野（女性学など）に対しては、リアクティブな態度を取った（関連の学協会から依頼があれば、無理に断らなかった）。残念ながら、ステートメントで全分野を網羅するのは、資金的・体力的に無理である（分野の数が増えればQAAの業務も増えるため）。

ステートメントを、レギュレーションとして用いることは絶対でない。デベロップメンタル・ツールとして使う。従って、大学はステートメントに必ずしも従う必要はない。

TQAのように評価結果をスコア化する危険は、メディアで使われること。悪い評価を受けた部局は廃止の圧力を受けてしまう。とはいえ、よりよい評価受けるために努力する機関もあるので、メリットがないわけではない。

② Benchmark groups

・ Policies for the selection of group members

ベンチマーク・グループのパネル（編集委員）を選定する際に、多様な団体（学協会や専門職団体）から多様な経歴の人（多様な大学の代表者）が参加できるように配慮した。ただし、そのバランスを取ることは、分野によっては困難な場合もあった。なお、多様な機関に、誰を委員として入れるべきか、尋ねることもあった。

また、ア krediyteshon を実施している専門職団体の代表者は、利害関係者として、出来るだけ含めるようにした。

・ Systems for alliances with educational societies, professional organizations, etc.

・ Time required for editing statements, number of meetings (average, maximum, and minimum), and budget

2年以上で年3～4回の会議を開いた。QAAは秘書的な（編集者的な）仕事に徹した。（修正は何度も求めた。）

歴史学の分野では、ステートメントの編集に3年以上掛かると懸念された。（実際には、2年ほど掛かった。提出期限は3年をお願いした。）一般的に、人文社会科学の分野では、このような取組は初めてのため時間が掛かった。化学や医学など自然科学・医療系は比較的容易だった。

大学の教育担当副学長などから編集に関するアドバイスを定期的にもらった。

・ The role and members of a QAA steering committee

③ Preservation of the diversity and independence of each organization

大学の多様性を保つことに配慮している。旧ポリテクニクスでは、より実利的な科目が多く配置されているが、これらの科目構成でも、ステートメントを利用できるようにしている。

ただし、アクレディテーション制度との共存は、多様性の尊重という観点では、難しい問題である。例えば、工学や薬学では、資格授与との関係で、求める技能に柔軟性を持たせることが難しい。それから、地域性を重視したカリキュラムにどのように対応させるか、という問題もある。

ステートメントは、基本的に、アカデミック・スキルを定義したものであるが、エンプロイアビリティを意識したものに書き換えるように行政機関からいらわれている。ただし、ステートメントの編集には産業界の代表者（及び他の学問分野の専門家）も入っている。

④ Requests (instructions) from QAA with regard to editing statements considering the content and other related points

- Guidelines for editing statements

⑤ Formulation of methods to prevent conflicts of interest with regard to editing statements before they arise

例えば、バイオメディカルの分野では、この分野の卒業生の多くが研究所で働くことを目指すようなステートメントを作ろうとしたので、修正をお願いした。

⑥ Plans for revising material, adding subjects, etc.

5年ごとに見直すことを定めている。

⑦ The relationship with the (former) Department for Education and Skills when formulating Statements

⑧ Response (conciliation) to organizations and university teaching staff unions who are against to the formulation of statements

国（ファンディング・カウンシル）のお金で運営されている QAA の評価制度を新たに導入すると、国の関与が強まるのではないかという反対意見もあった。

また、数学・統計学の分野では、数量的な能力の育成に関する QAA の方針に対して、反対意見が表明された。

⑨ Consideration of the international validity of statements

ステートメントは、イギリス国内の文脈に合わせて書かれたものなので、そのまま海外

の文脈に当てはめることは難しい。国際的なチューニングも意識しなければならないが、国内の事情と合致しているかどうかが一番重要である。（国際化は二の次）

ボローニャ・プロセスでは、学位レベルの規定はしていても、分野別のことまで詳細に規定しているわけではない。

⑩ The current state of and problems in the educational assessment systems as a whole

評価制度の簡便化と評価担当者の専門職化により、評価が少数の担当者の仕事になり、その他大勢の教員の関心が薄れつつあることが、今後の課題である。

⑪ Introduction of universities implementing best practices (as well as those for which the response was negative)

優れた取組のリストは公開している。ただし、その普及活動は、HEA の役割だと理解している。なお、QAA では、‘best’ practices ではなく、‘effective’ practices と呼んでいる。（優れた取組は大学によって異なると思われるため。つまり、多様性の尊重。）

⑫ Suggestions for university education in Japan

以上

Higher Education Academy 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

Higher Education Academy

- ① Programme Specifications 策定の具体的な支援方法について
- ② 日時： 2009年2月25日（水）10:00~11:00
- ③ 場所： Innovation Way, York Science Park, Heslington, York, YO10 5BR
- ④ 対応者： David Sadler, Director (Networks)

3. 訪問調査結果概要

Sadler氏のHEAにおける役割について、主に5つある。（1）サブジェクト・センターのネットワークを管理すること、（2）大学の教育活動をプロフェッショナル化すること、（3）ナショナル・ティーチング・スキーム（スタッフ・デベロップメントの促進）の責任を担うこと、（4）e-learningの浸透を促すこと、（5）教育の質の向上に関するQAAとの協力体制を管理すること。

① The current state of and problems in educational support systems as a whole

教育評価制度の問題として、大学教員の大多数は、教育成果は昇格の重要な要因であるべきだと考えているが、現実には、教育成果のみでは教授になれないという意識も未だに共有されていることが挙げられる。つまり、教育活動に奮闘している教員に対する報償が十分整っていないことが問題である。

ベンチマーク・ステートメントは、新しい科目に関しては、その科目のカリキュラムは如何に在るべきかを考える場を提供したことと、その在り方を明確にさせたという利点がある。また、カリキュラムの策定に役立つものであるし、多様性についても担保していると思う。

ナショナル・サブジェクト・プロフィールは、その学問の歴史的発展経緯や学生・教員の人数の動向などを分析したものである。現行では、社会的な承認を得たいと考えている新興分野でプロフィールを発行しているが、総数は多くない。プロフィールは、記述的であるが、禁止事項を並べたものではない。

② Specific examples of support accompanying the introduction of subject benchmark statements

HEA は、ベンチマーク・ステートメントの導入に基づくカリキュラムの改革に関して、それほど支援できているとはいえない。というのも、大学独自の文脈でプログラム・サテイスフィケーションが作成されており、カリキュラム改革はその先にあるもので、HEA はそこまで個別対応できないため。

③ Cooperative relationships with universities in the development of curriculum

HEA は、カリキュラムそれ自体の開発を担当しているわけではない。大学が行っている質の向上に関する自主的な取組を支援することが、主な役割だと理解している。ただし、サブジェクト・センターは、学部レベルの協力（カリキュラム開発を含む）を行っている。なお、Institutional Partner Programme (IPP) と呼ばれる共同活動も開始した。

④ Policies for the establishment of subject centres

・ Policies for the selection of subjects (why 24?)

サブジェクト・センターを 1997 年に組織する際に、学問領域をマッピングしてみることで検討した。例えば、バイオサイエンスのセンターは、領域の名称にとらわれることなく、実際の中身を吟味して、対応しうる領域を確認した。その結果、26 の領域まで対応できることがわかった。こうして、センターの多くは多様な領域を含むものとなり、センターの数は 24 に留まった。今のところ、これ以上増やすことは、財政的な理由から困難である。とはいえ、学問的性格の異なる社会学・文化人類学・政治学を、一つのセンターで本当に対応できるのかなど、問題も出てきている。

サブジェクト・センターの主な財源は、HEA が負担している。ただし、そのお金は元々、ファンディング・カウンシルから配分されたものと、大学の会費によるものである。なお、数学などのセンターでは、大きなプロジェクト研究費がファンディング・カウンシルから直接配分されたこともある。

・ Systems for alliances with educational societies, professional organisations, etc.

⑤ Suggestions for university education in Japan

日本にも学外試験委員の制度を導入すべきだという提案には賛同する。教育活動に外部の専門家の目が入ることは重要だと考えるからである。ただし、委員の選定に問題がある。特に小さい分野では、いつも同じ人間が評価するという馴れ合いの問題がある。それから、学外試験委員は、クリティカル・フレンドであるべき。

(注意：学外試験委員制度は相互の監査制度として考えるべきではない。)

以上

University of Cambridge 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

University of Cambridge

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年2月13日（金）
- ③ 場所： Trinity Lane, Cambridge, CB2 1TN
- ④ 対応者： Alice Benton, Head of the Academic Office

3. 訪問調査結果概要

① What does the QAA inspection team actually do?

QAAの評価団は、大学の事務書類や試験方法など、プログラムの管理に関連するものの監査を行う。教育の質や内容について見るわけではない。

② What is the scope of the QAA inspection?

QAA のガイドラインによると、分野の選定は大学と協議すべきとされるが、他の分野への変更を勧められることもある。ケンブリッジ大学では、最終的に動物学と宗教学が監査の対象となった。

③ What does the QAA inspection actually examine?

書類のみである。QAA の監査団は、教員や学生と面談したわけではない。

④ What role do the "subject benchmark statements" play in the QAA inspection?

QAA の監査では、ベンチマーク・ステートメントは全く関係ない。

⑤ What role do the "subject benchmark statements" play in general?

ほとんど役に立っていない。あまりにも一般的で不明瞭なためである。ステートメントの内容について、伝統的な認証機関と QAA との間に緊迫した空気がある。対照的に、HEA のサブジェクト・センターは、分野によっては影響力があり、大学との関係も良好である。

⑥ What impact does HEA have?

ケンブリッジ大学は FD センターの運営資金を得ることができるものの、HEA の影響はほとんどない。FD は自主的なもので、関心のある教員はほとんどいない。

⑦ What is the level of student involvement?

学生の関与はほとんどない。スチューデント・ユニオンは独自のプレゼンテーションを準備していたが、QAA の監査団は学生の意見に興味がないように見られた。

⑧ What does the QAA look at from a student perspective?

学生の苦情への対応に関する手順（関係書類）を監査した。

⑨ Who are the QAA inspectors? What qualifications do they have?

彼らは研究者として行き詰まっている人たちである。彼らは監査する分野の専門知識を有する人たちではない。監査団の誰一人として、動物学や宗教学の専門家ではなかった。彼らは事務書類にしか興味を持っていなかった。大学は、誰が監査に来るのかについて、事前に聞かされたわけではなく、選択できたわけでもなかった。

⑩ What changes in the QAA regime are likely?

多くの学生が学生監査委員に登録したが、これは見せかけに過ぎないと思う。QAA は、学生を参加させるべきだが、実際は異なる。イギリスの過去の経験から、全ての大学の監査が終了した後は、再び、新たなルールが導入されると思う。

⑪ What if anything has been useful about the QAA regime?

Codes of Practiceは学外試験委員と関係がある。学外試験委員制度は教育の質を保証する上で、QAAの制度よりも明らかに重要である。

⑫ What is University policy with respect to the QAA?

評価に対応する専門職員を配置することで、大学教員を QAA や認証機関などの影響から遠ざけている。例外的に、QAA が面談するのは、QAA の専門用語を理解できる教員のみに絞っている。

⑬ How much does it cost the University to respond to the QAA?

データがない。ケンブリッジ大学は、5人の専任職員が QAA も含めた多様な認証機関に対応している。

⑭ Does the QAA provide advice?

特にない。学部は意見を求めることもあったが、助言はもらえていない。その代わりに、大学の執行部が QAA の指示を咀嚼し、学部に説明することに勤めた。イギリスの大学は、互いに経験と情報を共有している。オックスフォード大学は、先んじて監査を受けたケンブリッジ大学に助言を求めた。

⑮ What attention is paid to graduate programmes by the QAA?

ほとんどない。

⑯ Do QAA subject benchmark statements influence undergraduate or graduate programmes?

特にない。

以上

Cardiff University 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

Cardiff University

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年2月19日（木）14:00~15:30
- ③ 場所： Cardiff, Wales, CF10 3XQ
- ④ 対応者： Janet Cormack, Academic Policy Support
Richard Trueman, Academic Policy Support

3. 訪問調査結果概要

QAAの評価の元になっているTQAは、分野別評価であった。現在のQAAの制度は学部を監査するが、分野の内容ではなく、プログラムの管理体制に関心がある。

全ての学部を監査したTQAとは異なり、QAAは二つの学部のみを見本として参照する。ただし、理論上は、二つ以上の学部の監査をしていることになっている。

大学教員が監査に直接関与することは限られている。代わりに、評価の専門職員が主に対応している。

大学は監査委員が提案すると思われる問題への対処の下準備も含めて、広範囲に亘って監査の準備をしている。

評価に関する学生の関与は、他大学と比べて、カーディフ大学では広範囲に亘っている。これは、ウェールズ政府の政策に従ったものである。

ベンチマーク・ステートメントは、監査の過程において、それほど重要なものではない。なお、ステートメントに従っているか否かを問われることはないが、利用したかどうかは問われる。

ステートメントは、分野によっては、時代遅れのものとなる傾向がある。また、新たな分野のステートメントを作成してほしいという要望がある。

いくつかのステートメントでは、例えば児童学では、新しい大学が指導している分野も含めてほしいという要望を反映したものになっていると思う。とはいえ、ステートメントの多くは、伝統的な学問分野に基づいている。

ステートメントは、（研究職を目指さない）大学院の修士課程で使われることがあるが、（研究職を目指す）修士課程では滅多に使われていない。

Codes of Practiceは、ベンチマーク・ステートメントよりも有用である。ただし、Codes of Practiceは処方箋や解決策になるわけではない。大学の取組は、Codes of Practiceに準拠していることを求められる。

QAAは、大学が自らの管理運営能力を証明するという、lighter touchの方法を採用した。

QAAの監査報告書は、大学の広告に用いられることはない。Confidenceという高い評価を得ても、部外者にとって容易に理解できるものではない。このため、大学は未だにTQAの評価結果を広告に利用している。なぜなら、その内容は理解が容易で、かつ大学の学部を順位付けしやすく、管理運営については触れていないからである。

ただし、QAAの監査報告書は、メディアにとって、その大学に問題があるということを指摘するには便利である。QAAの監査は、大学の様々な問題を見出すことに注意を向けているからである。

QAAは、カーディフ大学が他大学との共同学位課程を設置する上で、協力的であった。

QAAとヨーロッパ大陸諸国の類似機関との連携関係は不要だと思う。カーディフ大学はECTS（ヨーロッパ共通の単位制度）を採用していない。

ボローニャ・プロセスは、押しつけ的な活動であるが、イギリスには、それほど影響を及ぼしていない。おそらく、イギリスの大学制度は、ボローニャ・プロセスで提言された様式と、それほど大きな差異がないためと思われる。

カーディフ大学が、QAAの評価への対応にどれほどのコストを掛けているか、算出したことがないのでわからない。

QAAは大学に対して好意的になりつつあり、ある程度役に立つ機関であると思われる。QAAの職員は、官僚的な監査官の態度から、大学の同僚であるような態度に改めた。

QAAの監査団は大学教員である。彼らは、監査委員としての訓練を経た後、年3～5回の監査を行う。

カーディフ大学では、QAAの監査委員を勤めているのは、僅か一人の教員だけである。大学は、QAAの情報を収集できるという観点から、教員が監査委員になることを歓迎している。

監査委員の候補者の中には、QAAの評価への敵意から、名簿から外されたことがある。

以上

University of Oxford 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

University of Oxford

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年2月20日（金）11:00~11:30
- ③ 場所： Wellington Square, Oxford, OX1 2JD
- ④ 対応者： Richard Hughes, Reader in University Office

3. 訪問調査結果概要

QAAの指標を利便性で並べると、下記のようなになる。

1. Codes of Practice
2. Frameworks for Higher Education Qualifications
3. Programme Specifications
4. Subject Benchmark Statements

Codes of Practice は、QAA の指標の中で最も利便性が高いが、ベンチマーク・ステートメントは、その反対に位置づけられる。

プログラム・スペシフィケーションは、デアリング・レポートの提言を起源としており、ラーニング・アウトカムを記述するためのものであるが、オックスフォード大学では浸透していないし、外部干渉だと見なされている。ラーニング・アウトカムは、単純すぎて、オックスフォード大学には、不適切だと見なされている。ラーニング・アウトカム形式に合わせるために、オックスフォード大学のプログラム関連の書類を書き換える作業には、膨大な時間を要した。

学生がスペシフィケーションを読んでいるという証拠は見あたらない。スペシフィケーションの作成は、労力と時間の無駄でしかない。

QAA の監査委員は、ベンチマーク・ステートメントの引用箇所を見つけ出そうとするが、成果の発見にまでは至らない。新しい学士課程コースを設置する（オックスフォード大学では滅多にない）ときは、適当なステートメントが引用されるようであるが、それ以外の影響はない。なお、新しい修士課程コースの設置では、ステートメントが役に立つことはあまりない。

オックスフォード大学は、学内の審査を最近受け入れた学部については、QAA の監査を

受審しなくても済むよう、QAA と交渉している。

残念ながら、オックスフォード大学には、QAA の監査委員を兼任している教員は一人もいない。

今日のQAAの方法は、従前の分野別評価であるTQAと比べれば、よくなったと思う。QAAはプロセスに焦点を合わせており、カリキュラムの内容ではない。学部の監査は機関全体で何を実施しているかのサンプル調査を意味しており、その基本的な調査内容は、「How do you know what you are doing?」（自らの行動への説明責任）である。

オックスフォード大学は、評価には幅広い視野を求めており、QAA の監査委員が大学の歴史にそぐわない硬直的なモデルを適用することを恐れている。

QAA の監査委員がオックスフォード大学に対して個人的なバイアスを持ち込むとしたら、それは危険なことである。あるいは、彼らが、オックスフォード大学の特異性を無視して、全ての大学に唯一の普遍的なモデルを適用しようとするとしたら、それも危険である。

QAAの監査委員の養成制度は、彼らに大学の多様性を意識させるものとすべきである。監査チームは、その場限りのものである。誰に当たるか、「引き当てる幸運」もあり得る。ヨーク大学はその幸運に見放された大学の一例といえる。この大学は社会的に高い評価を受けている機関だが、監査報告書は否定的な見解で埋められていたからである。（参照：<http://www.qaa.ac.uk/reviews/reports/institutional/York08/report.asp#appendix>）

オックスフォード大学における評価活動への学生参加は、ケンブリッジ大学と比べれば、多いと思われる。事実、監査報告書の 55 頁には、学生のプレゼンテーションが掲載されている。

QAA の監査は、ライタータッチとはいえ、煩わしいものである。私（ヒューズ氏）は、次の監査を受審するまでに引退したいと思っている。私は既に二度も監査を受けており、もう十分である。

オックスフォード大学にとって最大の問題は、QAAの監査は、全作業が執行部の定める同一の方法で行われるという、中央集権型のトップダウンを基本としているところである。オックスフォード大学は、高度に分権化した組織である。個々の学部・学科は非常に長い固有の伝統を有している。トップダウン型の報告書作成工程は、オックスフォード大学の組織や伝統に適合するものではない。

① What would you stop doing if the QAA ceased to exist?

QAA は、充実した統計データなどを大学のホームページで公開することを求めている。このデータの収集には時間とお金が多大に掛かるが、そのデータを誰かが実際に活用したという証拠はほとんど見あたらない。もし QAA が無くなるのならば、私たちはこの作業を止めると思う。

（注意：今回の調査で面接を受けた他の人も同様のことを言及していた。QAA が大学に作成を依頼する書類の大多数は、QAA や大学管理者にしか興味を持たれないものである。

よって、これらの情報をインターネットで公開するために、経費を無駄にする理由はない。
これらの情報が必要な人は、その都度直接問い合わせればよい。）

以上

University of Manchester 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

University of Manchester

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年2月24日（火）14:00~15:00
- ③ 場所： Oxford Road, Manchester, M13 9PL
- ④ 対応者： Emma Wood (Hilton), Teaching and Learning Manager (Quality)

3. 訪問調査結果概要

エマ・ウッド氏は、マンチェスター大学におけるQAA監査の実施担当者であり、かつ、QAAの秘書としても働いている。QAAで働いている間は、マンチェスター大学の勤務外の扱いとなり、QAAから給料をもらっている。

① What use is made of the Subject Benchmark Statements (hereafter SBS)?

ベンチマーク・ステートメントは、大学が利用している多くの参考基準の一つである。それは、規定的なチェックリストとして用いられるわけではない。いくつかの分野では、ステートメントは存在すらしていない。（注意：ステートメントの利用度は高くないようで、この面談では、ステートメントについてそれほど多く言及されていない。）

② What has been the relation of Manchester University (hereafter MU) to the QAA?

旧マンチェスター大学は、2004年にマンチェスター工科大学と統合した。その翌年にQAAの監査を受けている。この監査は、大学全体を対象とする機関評価である。QAAは、クリティカル・フレンドであり、有用なコメントを頂けた。

2006年に、マンチェスター大学は、QAAによる他大学を交えた共同評価を受けた。この外部評価によって、内部評価との差を見いだすことが出来た。

次回の外部評価は、2011年に予定されている。

ここで重要なことは、QAAの評価は毎回制度が異なることである。また、QAAの評価は、TQAのような分野別評価ではない。TQAの方法は、押しつけ的で評判が悪かった。さらに、評価者にとっても大学にとっても負担が大きかった。

マンチェスター大学は、QAAの期待に反して、ステートメントをカリキュラムの修正に利用していない。QAAの評価に対しても、特別な準備はしていない。というより、特別な準備は必要ないように設計されている。

③ What is the most useful part of the QAA?

他の評価者の言葉を借りると、ステートメントより、Codes of Practiceの方が有用である。

④ Do the SBS have any impact on what is taught in the classroom or how it is taught?

いいえ。影響はありません。

⑤ How does the University regard the dual role of Ms. Hilton in which she works for the University dealing with the QAA but also works for the QAA? Is there any "conflict of interest?"

特に利害関係はありません。むしろ、QAAの情報を入手できるため、大学はそのような両立を歓迎しています。

⑥ How time consuming is the QAA audit for those who conduct it?

評価を受けている間は、計8日程度掛かります。1週間の実務と3日間の会議です。

⑦ How many MU academics have worked as QAA auditors?

正確な人数はわかりません。退職された方も含まれているからです。大学は教員が監査委員として働くことを歓迎しています。とはいえ、多くの教員は、QAAの監査委員として働くことを望んでいるわけではありません。というのも、(1) TQAの分野別評価に敵意を感じたものが多くいたこと、(2) 監査委員としての活動は時間を取られること、及び(3) 監査は授業期間に行われることがあり、休講しなければならないことなどがあるからです。

⑧ Do QAA ratings have any use in university PR? Do they influence domestic or foreign student choice?

いくつかの新聞では、評価報告書を彼らが作成するリーグ・テーブルに反映させようと試みている。しかし、評価報告書は教育の管理運営が記載されているものであり、大学に関する知識が豊富でなければ、それをそのまま使うことは難しいと思う。また、国内外の学生への影響はそれほどない。

TQAの分野別評価は24の計画ごとに記載されており、対外的にも理解が容易であった。従って、よい評価結果を受けた大学が、10数年が経過したにもかかわらず、未だに広告に利用しているのは自然なことである。

⑨ How useful are the QAA publications that describe "effective practice?"

大変便利である。おかげで、全ての大学の報告書を読む必要がない。事例の要約集は、大学名を明らかにしていないが、察しはつくので問題ない。

⑩ How do university administrators who deal with the QAA learn the experiences of other universities?

個人的なネットワークが大変重要である。大学の執行部は他大学の執行部と情報交換を行っている。QAA もセミナーを開催しており、実利的な情報を得られている。

⑪ What does the emphasis on "enhancement" in QAA documents mean in practice?

この用語の意味は不明瞭である。おそらく継続的改善だと思うが、QAA に言われるまでもなく、大学で常に取り組んでいることである。

⑫ What is the level of student involvement in the QAA audit?

大学によって大きく異なると思うが、マンチェスター大学では、様々なレベルで生徒が関与している。ただし、彼らは QAA の過去の監査では直接関与していない。QAA は学生のプレゼンテーションや面接を要求してくるだろうが、不要だと思う。大学では、学生の満足度調査などを既に過剰なほど行っている。

以上

University of Sussex 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

University of Sussex

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年3月3日（火）11:30~12:30, 14:00~16:00,
2009年3月4日（水）11:00~12:00
- ③ 場所： Falmer, Brighton, BN1 9RH
- ④ 対応者： David Robinson, Reader in Physical Geography
Paul Cecil, Head of the Academic Office
Helen Prance, Reader in Electronic Engineering

3. 訪問調査結果概要

① Who made the selection of those people to meet with the QAA auditors?

QAA は、大学が作成したリストの中から、彼らが面談したいと思う人を指名しました。

② To what degree are subject benchmark statements used in student evaluation? What fraction of students fail to graduate because they have not met the thresholds in subject benchmark statements?

これはとても奇妙な質問です。ベンチマーク・ステートメントと学生の成績評価には、ほとんど関連はありません。ましてや、ステートメントの内容を卒業試験に何らかの形で反映させることなど、到底考えられません。評価の判定は、大学の自主的判断に任されています。

サセックス大学工学部におけるステートメントの利用方法は、主に二つあります。

- (1) 大学は、私たちがプログラム・カリキュラムの改編や新しい科目を企画する際に、ベンチマーク・ステートメントの参照を求めてきます。
- (2) ステートメントの内容は、カリキュラムに多様な形（必修科目の設定など）で、盛り込まれています。

QAA と大学との関係は、信頼を礎としたものです。ステートメントは、学術専門家との

同意の賜物です。QAA は、大学教員がステートメントの内容を自主的に具現化できると、信じています。

工学の領域では、専門職団体のアクレディテーションが浸透しています。この団体は、QAA よりも、より詳細な要件を求めてきます。とはいえ、団体は、大学が何をすべきかを教えてくれるわけではありません。あくまでも、要件を満たしているかどうかを確認するだけのことです。

③ The QAA produces such as codes of practice, subject benchmark statements, etc. Could you rank them in terms of importance and utility?

私たちは、大学の全ての活動領域に亘って、codes of practice を参考に、自己評価をしています。また、私たちの行っていることが codes of practice のどの部分に当てはまるのか、マッピングの作業も定期的を実施しています。もし、codes of practice と異なる活動を行う適切な理由がある場合は、その理由を QAA に説明します。

今日の午後にも、マッピングに関する会議が予定されています。codes of practice は確認作業をする上で役に立つものですが、大学の行動に枠をはめるものではありません。

④ What do you do when there is no subject benchmark statement covering your programme? For example, there is a subject benchmark statement for history but many courses do not have a name that connects directly with a subject benchmark statement.

確かに、ベンチマーク・ステートメントは、全ての分野をカバーしていません。適当なものが無い場合は、近接する分野のステートメントを参考に、プログラムの内容を検討し、教育の目的を説明できるようにします。仮に、近接する分野が全く見つからない場合は、学生に期待する学習成果において何が重要であるかを知るためのテンプレートを用いて、内容の検討と説明責任を果たせるようにします。

⑤ Are there any cases where you refer to more than one benchmark for a given programme?

はい、複数のステートメントを参照しました。というのも、私たちの工学部は、多様な学問領域を含んでいるためです。ただし、専門職団体のアクレディテーションの要件を、より重視しました。先に述べたように、アクレディテーションの要件が、QAAのものより詳細に書かれているからです。システム工学やロボット工学などが、よい例です。

⑥ There seems to be an idea that the subject benchmark statements could be used to reduce and regularise the names of programmes. Have you been under any pressure to regularise the names of programmes?

それは全く感じません。学部の名称は、そのプログラムの内容を表すためのものですし、学生募集のための経営戦略でもあります。ただし、工学のようにアクレディテーションが

発達した分野では、学部の名前は画一化しています。これは、QAAではなく、アクレディテーション団体が特定の名称の利用を期待しているからです。

- ⑦ What level of faculty knowledge and interest is there in QAA benchmarks? Could I pick a faculty member at random and expect him or her to know the context of the subject benchmark statements for his or her field?

ランダムに選ばれた大学の教員は、おそらく、ベンチマーク・ステートメントの内容を知らないと思います。プログラムやカリキュラムの開発に関わった教員のみが、ある程度知っているものだと思います。私は、この状況を問題だとは思いません。大学内に評価への対応制度が確立していれば、個々の教員にQAAの知識を要求する必要性はありません。

サセックス大学では、新任教員に、最長3年間の研修プログラムへの参加を義務づけています。この研修期間で、彼らにはQAAについて知識を得る機会が与えられます。なお、研修プログラムへの参加は、大学が定めたもので、QAAの要求ではありません。

- ⑧ Do you find Sussex staff willing to work as QAA auditors?

よく存じておりません。

- ⑨ What level of student involvement is there with the QAA?

サセックス大学の学生の参加は、かなりのものです。学生団体はQAAへのプレゼンテーションの実施を依頼されました。QAAの監査団も学生と面談しています。

QAAによると、学生と面談することは、提供されているプログラムの効果を知る一つの手段とのことです。この手段は、QAAと大学の信頼関係の上に成り立っています。QAAは大学に何を実施しているかを尋ね、そして、その証拠を求めます。大学側が学生の証言も含めた証拠を提出できれば、QAAの監査は満足な結果で終了します。

- ⑩ When I looked at audit reports, they appeared to be largely what the universities had told the audit team.

はい、その通りです。ただし、大学の証言を実証する証拠の提出を求められます。もし証拠の提出が難しいようならば、その点については言及しない方がよいでしょう。しかし、学生との面談などを通して、QAAが問題を見出した場合には、適切な対処を行わなかった理由について説明を求められます。

- ⑪ The QAA issues compendia of best practice although they do not actually use the term "best practice." Do you use these?

特に用いていません。

⑫ I have heard that in some fields the creation of subject benchmark statements was quite confrontational with sharp ideological splits while in other areas the creation was welcomed.

What has been your experience with engineer, math, and related fields?

その点について、存じておりません。私からいえることは、多様な利害関係者を交えて、広く協議が行われたということです。工学に関しては、イデオロギー的論争は無かったと思います。あえていえば、職業的なベンチマークに関して、学者が反対したようです。

ベンチマーク・ステートメントは、エンプロイアビリティやジェネリック・スキルについて触れていますが、規定的なものではありません。

書く能力やコミュニケーション能力については、工学分野では問題にはなっていません。専門職団体がこれらの能力の育成を、QAAが求めるのに先んじて強調していたからです。

数学の分野は多少文脈が異なります。数学のベンチマーク・ステートメントは、数学の一つの領域を学生が修得できれば、彼らは数学者であると見なしています。つまり、全ての領域をマスターする必要はないわけです。

⑬ In the case of the Research Assessment Exercise, there is a strong science and engineering colouring. For example, N publications in M years. This is very easy in the science and engineering, but very difficult in the arts and humanities. Is there any science and engineering bias in the QAA?

バイアスはないと思います。というのも、ステートメントなどのQAAの資料は、分野別の専門家によって作成されたものだからです。

⑭ In Japan there seems to be some pressure to more explicitly or more rigidly specify course prerequisites. As someone who studied engineering, I know that in engineering there are many cases where prerequisites are important, but in history or sociology, for example, most courses do not need to be taken in a specific sequence. Have you felt any QAA pressure with respects to prerequisites?

いいえ。それは programme specifications の一部で、各大学が定めるものです。

なお、サセックス大学では、単位互換の制度がありません。他大学の単位を卒業単位に組み込むことは出来ません。ただし、2年生から学習を開始できる編入制度はあります。

ベンチマーク・ステートメントは、単位互換の障害になる可能性があります。ライター・タッチの制度が大学の多様性を促し、同一分野の教育プログラムの相違を広げているため、学生に求める能力に差が生じ、他大学への移動を難しくしています。

⑮ Do you feel any pressure to adjust your programmes to any European schemes?

私たちの学部では、ボローニャでの同意にプログラムを合致させるよう努力しています。

ただし、ECTS は取り入れていません。他大学の単位を認めていないからです。

- ⑩ Are there any cases where QAA requirements have seriously interfered with anything you really wanted to do?

ライター・タッチが採用されたため、干渉されることは在りません。専門職団体の方がよっぽど問題です。

QAAと専門職団体の間で、監査を受ける大学に求める情報の要件を調整してもらえると、準備がもっと楽になると思います。彼らの監査の方法が異なるため、私たちは同じ情報を異なる様式で提出しなければなりません。これは時間の浪費です。

- ⑪ How frequently are the external audits?

3年から5年の周期です。QAA が承知すれば、もっと頻繁に監査を受けられます。QAA の監査は、大学からのフィードバックを受けて、改善されてきていると思います。

- ⑫ If you could mandate changes to the QAA, what would you do?

変化を求めるかどうか、定かではありません。もし何か変えられるのであれば、QAA と専門職団体の同調を求めます。専門職団体も、QAA のライター・タッチを採用してほしいです。

QAA の監査はより一貫したものです。監査委員の選抜・養成が確かなものだからです。

- ⑬ Do you find a significant difference between what the QAA does at the graduate and undergraduate levels?

ベンチマーク・ステートメントは、（研究職を目指さない）大学院の修士課程に有用なものだと思う。学士課程と同様の手順を適用できるからです。（研究職を目指す）大学院の評価は、まだ始まったばかりで、QAA も大学も自信がないように見えます。

- ⑭ Do University staff participate in QAA seminars?

はい、大学の管理者が参加します。

- 21 Does the QAA impinge on joint programmes such as you have with the University of Brighton?

はい。QAA は、ジョイント・プログラムも評価します。QAA の評価制度で同様の手順が異なる大学に適用されるため、ジョイント・プログラムの設置が容易になってきています。管理用語を用いれば、大学は「speak the same language」と表現できます。

- 22 Do any of the materials you prepare for the QAA have any PR value?

広告的価値は、全くありません。Confidence の評価を受けても、リーグ・テーブルに反映されるわけではないからです。逆に、QAA の報告書で問題が見つかり、メディアで広く喧伝されます。

23 Some people have criticized the QAA for providing specific advice. Some have seen this as a failing. Others think this is appropriate.

Codes of practiceがQAAの助言の一部といえます。QAAは、指図はしないという立場を取っているので、大学は何をすべきだという明確な助言はしていません。言い換えれば、大学に何をすべきか考えてもらうためには（思考停止を避けるためには）、明確な助言は控えるべきです。

24 The USA has nothing like the QAA even at the state level. Why does Britain need the QAA?

The only explanation for the British case I can see is political, the Thatcherite notion that any institution using public money is guilty of misuse until it can prove itself innocent.

はい、ご指摘の通りだと思います。私たちには説明責任があるのです。

QAA の評価のもう一つの意図は、伝統的な大学が研究活動のみに猛進して、教育活動を蔑ろにすることを防ぐためかもしれません。

以上

University of Warwick 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

University of Warwick

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年3月2日（月）14:00~15:00
- ③ 場所： Coventry, CV4 7AL
- ④ 対応者： Thomas Docherty, Professor of English & Comparative Literature

3. 訪問調査結果概要

トーマス・ドハティ氏は、ワーウィック大学の英文学の教授であり、現在は、英文学・比較文学学部の学部長を勤めている。

QAAによると、私たちは自らの教育計画を評価できなければならない。そのためには、個々の教員が最終的に学生に何をできるようにさせたいのか、つまり、学生はA, B, C...ができるようになり、A, B, C...を知り得たことを明確に把握しなければならない。これは、機械的、かつ露骨なものに聞こえる。このようなものは教育とは呼べない。もし、この種の方法が教育と学習、双方の質を保証すると考えているのなら、QAAは教育と知識生産の現場を信頼していないと思う。QAAの考える教育とは、教員の知識を学生に伝えることのみを意味し、学生が自ら考え創造するというものとはほど遠い。

私はシェイクスピアを専門としている。QAAは私の知識の学生への伝達を望んでいるが、これではシェイクスピアの神髄が失われてしまう。QAAは情報を知識だと信じ込んでいる。この思いこみは、私の考える良い教育に悪い影響を及ぼしている。良い教育とは、結末のわからない演劇のようなものである。教員は、授業の流れに適応する能力を要求される。TQAが実施されていた頃は、全ての授業で特定の目的を予め設定しなければならなかった。学生が興味を持った事柄に授業時間を費やそうものなら、自らの授業計画に支障をきたすような仕組みだったのである。

私がQAAに反意を示すのは、彼らが教育を、単なる売買できる商品に貶めているからである。私がこれを自由を奪う「ガン」だと呼んでいる理由の一つは、それが監視の論理を含んでいるからである。QAAは全てのものが可視的でなければならないと考えているが、結果的に、人から後ろ指を指されないようにするという意識を学生や教員に持たせる要因

となっている。この落とし穴に落ち込んではいけない。このままでは、自由、特に思考の自由が侵害されてしまっている。

① TQA was extremely intrusive. Even with a lighter touch, is the QAA still quite intrusive?

残念ながら、その通りです。若年層の教員は、QAAの評価制度しか知りません。彼らは、経験上、現在の評価制度を一般的なものだと考えています。彼らは、学位課程コースとは、目的と計画で雁字搦めにされるべきだという考えに、染まってしまっています。

QAAはライター・タッチを採用していますが、それは単に、QAAが権力を直接行使する必要が無いからです。というのも、学長や大学の管理担当者が自ら進んで権力をふるってくれるためです。私たちは、授業ごとに「アウトカム」を定めなければなりません。私はつい最近まで、「アウトカム」というものが何であるかを知りませんでした。アウトカムというものを知ったとき、皮肉なことに、私の授業がなぜ良いものであるかを知ることができました。

QAAは、私たちを常に監視下に置く、警察国家のようなものです。これは、ジョージ・オーウェルによって風刺された世界です。この横暴に立ち向かうためには、私たちは破壊活動家にならなければなりません。私がある大学で新しいコースの設置を提案したところ、160もの質問項目に回答する書類を作成する羽目になりました。私は、第二の質問項目「What are the aims and objectives?」で、手が止まってしまいました。そのコースは、ポストモダニズムとマルキシズムに関するものです。私には、このコースの意図・目的など全く考えていませんでした。次の質問は、「What will the students be able to do at the end of the module that they could not do at the beginning?」で答えようがありませんでした。どのような学生が受講するかも、彼らがどの程度準備しているかも、知りようがなかったからです。

私の申請は受理されませんでした。私は正直に質問に回答したつもりですが、学部長は全ての回答に誤りがあると述べ、私はそのコースでは指導できないといわれました。私はならば辞退すると即答しましたが、学部長は、それは認められないといいました。その後、教授会での議論が延々と続いたあげく、最終的に、学部長が自ら書類を作成し、コースの設置が認められました。私も学生もその書類の中身は無視しましたが、そのコース自体は上手くいっています。

私はイギリスの大学で14年間教鞭を執っていますが、コースの意図・目的を意識している学生になど出会ったことがありません。QAAは学生の利益になると強調していますが、誰も興味など持っていないのです。

QAAは、あなたがあなた自身の動向を常に偵察する、管理体制を創出しました。それはまるで、神への忠誠を自問自答し続けるイエズス会の教えのようなものです。

② In Japan, the worst part is the people who do NOT treat this as a game and waste an immense amount of time arguing about the wording of documents that no one will even read.

評価制度の中に自らのキャリアを築く人たちがいる。教育改善のためのセンターなどで働く人たちなどである。閉鎖した学部の教員などが、そのようなセンターで働いている。彼らは職を得るために大学管理者となり、QAAの奉仕者となるのである。

私たちは、私たちが行っていることへの監査に関心がある一方、何をすべきかについて忘れがちである。本当の教育が失われてしまっている。書類作成業務が多すぎて、冗談で、トイレに行くにも意図と目的を明記した申請書を書く必要がありますか、トイレにおける「パフォーマンス」の自己評価報告書も必要ですか、などと戯けてみたこともあります。

③ Do you think the Warwick administration is more enthusiastic about this type of control than that at other institutions?

そうは思いません。ワーウィック大学はよく管理された大学だと主張しているだけです。他の機関の中には、特に旧ポリテクには、もっと酷いところがあります。彼らは自らの存在を正当化することに必死なのです。

一つの疑問として、私たちは、大学管理者も含めて、QAAの制度に対して疑念を抱いているのに、なぜ順応者と化してしまうのでしょうか。イギリスの学長達は、QAAの評価の受入を拒否することができたはずですが、LSEは拒否を表明しました。昔の話ですが、ワーウィックでも、経済学部（この学部の評価は、24点満点であったにもかかわらず）が、QAAに対して抗議活動を行いました。彼らは、QAAの評価制度は時間とお金の無駄で、教育の役には全く立っていない、と主張しました。

④ The “threshold” in the English benchmark statement seems to be a minimum standard that determines whether a student graduates or not. Could you comment on this?

私は、ベンチマーク・ステートメントをそのような目的で利用したことは一度もない。他の教員がそのように用いたという話も、一度も聞いたことがない。学生の成績や進級の判定基準として使うことなどあり得ない。

ステートメントを書いた人以外に、それを読んだ人を私は知らないし、読まないことをお勧めする。実にくだらないものだからです。ステートメント作成に関わった人たちは、その学問への裏切り者だと思う。QAAはガンです。摘出すべきです。

⑤ In Britain, there is nothing like the pattern in some American state universities of “flunking out” students based on the GPA. Can you verify this?

滅多にあり得ない。私たちは学生に進級を断念するよう忠告することはあるが、これは通常、相互の同意によるものです。留年や転部はあっても、卒業できないことは珍しい。卒業に至らないのは、多くは、学業以外の理由によるものです。

⑥ Do you worry about the potential for a government to interfere with the content of teaching?

イギリスでは、政府は既に初等・中等学校での歴史教育に干渉しています。すなわち、「イギリス人の視点」に基づく歴史教育への誘導です。これは政府干渉の強化を意味しています。

高等教育でも、例えば、HEFCEは（政府と大学の間を取り持つ）緩衝機関と見なされてきましたが、政府側に傾きつつあります。RAEは研究成果に基づく資金配分制度ですが、政府はHEFCEに対し、RAEの結果を無視してでも、自然科学や医学の擁護を求めています。これは人文科学への資金削減を意味し、あからさまな政府干渉です。

⑦ The RAE is very, very expensive for what little it did.

RAEは、ごく少数の大学に研究資金のほぼ全てを振り分けることを正当化する、一つの方法です。ラッセル・グループ（オックスブリッジやロンドンなど、研究大学の団体）をイギリス版のアイビー・リーグに仕立て上げるアイディアともいえます。とはいえ、その思惑は必ずしも成功していません。なぜなら、イギリス全土に散らばる小さな大学にも、優れた研究成果を認められるところがあり、僅かながらも資金が配分されているからです。

RAEは、QAAと同様に、馬鹿げたほど高価な制度で、かつ人の行いを歪めるものです。

⑧ What do you see as the future for the QAA? They seem to be shifting to “enhancement,” whatever that means.

私の望みは、QAAが閉鎖されることです。しかし、それはあり得ないでしょう。

⑨ How important are European developments?

ヨーロッパ諸国との連携は、単なる理想で現実ではない。商業主義以外の何物でもない。教育が商品になっている。

⑩ Have any of the European credit transfer schemes had any impact?

学生の移動が少ないため、大した影響はない。ヨーロッパ大陸から学生がやってきて、一年間滞在するものの、彼らの活動は活発ではない。彼らの来英目的は、英会話の勉強と楽しいひとときを過ごすこと程度だろう。ただし、この「楽しく過ごす」ということは、大学に期待されている重要な役割の一つだと思う。学生の自主性が活かされるスポーツや文化活動も、大学教育の大切な一部である。

以上

London School of Economics and Political Science 訪問調査報告書

1. 調査の目的

イギリスの分野別質保証制度の実態を調査分析し、我が国における類似制度構築の参考資料を作成する。

2. 調査対象

London School of Economics and Political Science

- ① Subject Benchmark Statementsの具体的な利用状況について
- ② 日時： 2009年3月5日（木）14:40~16:20
- ③ 場所： Houghton Street, London, WC2A 2AE
- ④ 対応者： Simeon Underwood, Academic Registrar, Teaching Quality Office

3. 訪問調査結果概要

サイモン・アンダーウッド氏の QAA に関連した LSE での役割は、LSE と QAA の双方の利害を調整することである。というのも、LSE はイギリスの大学の中で最も強硬に QAA への抵抗を示している機関であるが、QAA への強すぎる抵抗は、LSE の最大の収入源である留学生の受け入れに、害をもたらす危険があるためである。

彼は、我々の質問に答える形ではなく、自らの評価担当者としての長い経歴に基づく、QAA の発展経緯を説明してくれた。なお、彼の説明は、彼がランカスター大学で講演した内容（題名：The Hunting of the Snark）を要約したものである。

この20年間に、評価に関する、それぞれ異なる制度が4つ登場した。1980年代までは、大学の総務係は、隔離された、その存在を知られていない人たちだったが、今日、彼らは強力な権力を有するようになっていく。QAAはこの変化をもたらしたのである。

1987年頃から、Committee of Vice Chancellors（現：Universities UK）は、政府の quality に対する強い言動に神経質になり始めた。フィリップ・レイノルズ（ランカスター大学）が good practice などに関する一連の報告書の執筆を依頼されたのも、この頃である。政府は、ポリテクニクの教育の質を管理する Council for National Academic Awards のような機関が、大学にも必要だと指摘した。教育の質に関する議論が巻き起こることに、ヨーク大学などの多くの大学から否定的な反応が見られ、大学教員による理論的な反論が成された。

5年ほど前まで、大学教員は政府が大学に質保証を強制してくることを強く恐れていた。彼らは、大学制度の健全度を示す望ましい方法として、中等教育の OFSTED に類する機関の設立を望んだ。これが、後に QAA 設立の追い風となった。

ケンブリッジ大学はレイノルズの報告書を無視することを宣言し、そして、**Academic Audit Unit** は、**CVCT** を設立した。この機関の監査では、教育内容などを調べるのではなく、教育支援の制度を検査した。これは、他の公的機関への監査方法と類似したものである。

このパターンは、現在も変わっていない。四人の監査委員と一人の秘書が大学を訪問し、制度に関する膨大な書類をチェックするのである。

報告書は、長文で難解である。専門用語は大学管理者にしか理解できないものである。もし日本に類似の制度を構築するなら、用語については配慮した方がよいと思う。数字も等級も付けられていない。従って、大学教員が報告書を読んでいるとは考えない方がよい。

大学に対して否定的な結果を付した **QAA** の評価は、ほとんど無い。今日まで、**QAA** の監査を通らなかつたのは、僅か一大学しかない。十指に余る程度の大学が **limited confidence** の評価を受けて、改善を勧告されたものの、大多数は満足な結果を得られた。

この結果は、クリス・ウッドヘッドの名の下に強大な権力を行使する **OFSTED** のものと異なる点である。彼は10校に1校の中等教育機関を不可にしている。この差が、政府が **QAA** は仕事をしていないと考える、理由の一つとなっている。同時に、**QAA** が社会一般に注目されない理由にもなっている。

1992年に、**HEFCE** が質保証の役割を担うことになった。これは分野別の評価となった。また、評価結果に応じて、大学を等級付けした。1992年から1995年にかけて、**excellent**, **satisfactory**, **unsatisfactory** の三段階を、1995年からは、六段階の点数制を採用した。

1997年に、私はシェフィールド大学で報告書を書いた。その結果は多少意に反したものであったが、これは単に**QAA** の評価に慣れていないことが原因だったと思う。というのも、年月を重ねるごとに、**QAA** の期待する内容を学び取ることが出来たおかげで、大学全体の平均スコアは上昇していったからである。

やがて分野別評価は、授業中に行われている内容に視点が向けられるようになってきた。その結果、教員は真剣に自らの教育を再考するようになった。これは良いことであった。

分野別評価は、全ての分野の評価が終了する2001年まで継続した。ジョン・ランドルは、第二次分野別評価の開始を宣言したが、これは活発なロビー活動によって廃案となった。このロビー活動には、二つの有名な事例がある。

一つは、ワーウィック大学の経済学者が、新聞（ガーディアン）に投稿した記事である。彼らはワーウィック大学が監査に費やした経費を約20万ポンドと算出し、監査が税金と時間の無駄であることを唱えたのである。もう一つは、**LSE** の執行部が **QAA** からの脱退の動きを示したことである。この動きは法に触れるものではなかったが、メディアの注目を大いに集めた。

最終的に、当時の教育労働大臣であったディビット・ブランケットは、大学に譲歩し、全ての学部ではなく、学部の4割を選び、監査の対象にするという宣言をしたのである。

少し年月をさかのぼって、1997年に、デアリング侯が重要なレポートを提出した。この

レポートは、主に学生の経済支援に関する提言をしたものだが、質の保証についても言及している。レポートは以下の疑問を投げかけている。How do we know that a 2.1 from Oxford Brookes is the same as a 2.1 from Oxford? これは、学位標準化の必要性を唱えたものである。また、master's degree の意味がイギリス国内で異なることも問題であると指摘した。

これらの疑問の提唱が、後に、サブジェクト・ベンチマーク・ステートメントの導入に繋がるのである。すなわち、「学位の意味」が問われるようになったのである。

ただし、LSE の学長であったアンソニー・ギデンズが述べたように、ステートメントの目的は如何なるもので、誰に向けて書かれたものなのかは、必ずしも明確とはいえない。ステートメントは一定数の大学で役に立っているようだが、LSE では独自のものを開発中である。

現在の監査では、FHEQ を参考に、大学の行いに関する自己説明を調査している。LSE にとって、説得力のある説明をすることは、容易なことである。2年制のファンデーション・ディグリーなどを設置している大学は、苦勞していることだろう。

監査の準備には、二つのパターンがある。一つは gold plating と呼ばれるもので、大学の管理部門が全ての学部で QAA の指針に従うことを強制するパターンである。もう一つは、LSE が採用している cherry picking と呼ばれる学部の自主性に任せるパターンである。

2002年に、ロン・クックは Teaching Quality Information を導入した。これは、全てのプログラムのデータ・ベースを基本とした調査である。2004年には、National Student Survey へ発展した。この調査では、LSE のような大学は悲惨な結果となった。学生が教育に対して大変批判的なためである。Open University が最も良い結果となり、小さくて家庭的な大学の結果が総じて良好であった。

教育の質に関する最後の取組が、質の向上 (Enhancement) である。QAA は、この方向に向かいつつある。監査は必ずしも教育の改善に繋がるものではないが、学生へのフィードバックや指導への熱意などが、監査の対象に含まれるようになった。加えて、教育の何を改善しようとしているのか、問われるようになってきた。

大学の多様性については、尊重されていると思う。従来分野別評価が一つの枠に押し込めるものであったため、ワーウィック大学や LSE が最も危惧していたことは、多様性の侵害であったが、この危惧は不要であった。

残されている課題は、監査委員の知識が不十分なことである。つまり、彼らは素人で、評価の専門家ではなく、先入観で判断を下しているように見えることである。

現在、イギリスの学士の学位に付される等級の信憑性について、疑問が広がりつつある。大学の入学要件となる A レベル試験の結果のインフレも、問題視されるようになってきた。ボブ・バーガスのような政治家が、これらの制度の廃止を主張しているが、個人的には、この制度はもうしばらく存続させた方がいいと思う。

留学生の受け入れに関しても、問題が噴出している。優秀とはいえない留学生に対する

安易な学位の授与が、うわさ話として頻繁に聞こえてくるようになった。この種の問題は、オーストラリアやアメリカでは、もっと深刻かもしれないが、イギリスも他人事ではなくなってきた。

政府は大学進学率の上昇を要求しているが、学力不足の学生の受け入れ拡大は、新たな問題を生みつつある。成績評価に対する不平不満を、法的に訴える学生が多くなってきた。アメリカの悪い影響が広がることを我々は心配している。この新たな問題に対処する専門機関として、Office of the Independent Adjudicator が設立された。

もし学生が LSE の教育に不満ならば、OIA に駆け込むことが出来る。こうして、大学は好ましくない判定を受けることになるだろう。ある意味では、OIA は QAA よりも、大学にとって強い影響力を及ぼしてくるかもしれない。なぜなら、OIA は、擬似的な司法機関であるからである。

今後数年間のうちに再び大きな変革がもたらされるかもしれないが、それが何なのかは予測が難しい。

費用対効果の問題は解決されたわけではない。プリマス大学は、質保証のために毎年 130 万ポンドを費やしていると発表した。2003 年の時点で、この額は予算の 1% に匹敵した。安全確保を重視しなければならない自動車会社ならば、この割合は高いものではないかもしれない。しかし、大学にとっては過剰に見える。

高い評価を受けた教育活動に対して、RAE に基づく研究資金の配分制度のように、教育資金を傾斜配分すべきだという考えがあった。しかし、ほとんど全ての大学の評価が最も高い評価になったため、これは実現していない。

- ① There is the problem that in Japan, most students attend colleges that are private in both ownership and funding. The government only provides about 10 percent of their funding but it wants 100 percent control. More important, some of the policies the Ministry of Education seems to be thinking of would force colleges to turf out non-performing students. When you turf out students, you lose their fees. Doing this would destroy some colleges.

イギリスにおいて、バッキンガム大学が民間資金で運営されている唯一の大学であるが、当然ながら、QAA の監査を受ける義務はない。しかし、この大学は自主的に手を挙げて、監査を受け入れている。最近の結果は limited confidence の評価となったが、不当な判定だと思われる。この判定は学生募集に悪影響を及ぼす可能性があり、バッキンガム大学は不服申立をしている。対照的に、チームズ・バリー大学は no confidence の評価を受けた機関であるが、授業料に依存した機関ではないので、悪い評価の影響はバッキンガム大学よりも少なかった。

LSE は公的な教育資金への依存度が低い大学であるが、資金を政府に頼り切った大学と同様に、QAA の監査を受審しなければならない。

仮に政府が質保証をヘビー・タッチに改めるとしたら、ラッセル・グループは、独自の質保証制度を開発することになるだろう。レギュレーションの強化は、アメリカの大学と過酷な競争をしているラッセル・グループの大学にとって、不利な立場に置かれることを意味するからである。

まとめとして、LSE にとって、ベンチマーク・ステートメントの影響は無いに等しい。LSE は、新しい学士課程プログラムを開発することは、滅多にない。ステートメントは、新しい大学にとっては有用であるかもしれないが、古い大学で使われることは余りない。

以上

Academic Infrastructure の概要 (英文)

The Academic Infrastructure is a set of nationally agreed reference points which give all institutions a shared starting point for setting, describing and assuring the quality and standards of their higher education courses. The Academic Infrastructure has four elements and all are inter-related. The Code of Practice is concerned with the management of quality and the other three give advice to institutions about setting standards.

(source: <http://www.qaa.ac.uk/academicinfrastructure/default.asp>)

The Frameworks for Higher Education Qualifications (FHEQ) describe the achievement represented by higher education qualifications. They apply to degrees, diplomas, certificates and other academic awards granted by a higher education provider with degree awarding powers.

Subject Benchmark Statements set out expectations about standards of degrees in a range of subject areas. They describe what gives a discipline its coherence and identity, and define what can be expected of a graduate in terms of the abilities and skills needed to develop understanding or competence in the subject.

The Code of Practice for the assurance of academic quality and standards in higher education (the Code of Practice) provides guidance on maintaining quality and standards for universities and colleges subscribing to QAA.

A Programme Specification is a concise description of the intended learning outcomes from a higher education programme, and how these outcomes can be achieved and demonstrated.